

①-1 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業関係 専門課程	システム工学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,602 単位時間	1,398 単位時間	186 単位時間	1,018 単位時間		
			2,602 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	27人	0人	10人	3人	13人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) プログラマーとしての基礎能力と、SEとしての知識、技術、そして人間性を向上させることを目的とし、情報処理業界の中核となれる人材を養成する。検定においては、経済産業省主催である国家資格の基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、高度情報処理試験の合格を目指す。 コンピュータを利用したシステム作りには複数の設計工程が必要で、また、通信技術、データベース技術の利用も不可欠である。このような作業を遂行するために必要な技術者がSEで、当校唯一の3年課程として基礎知識の習得はもちろん、実習を通して深い理解と実践力を身に付ける。 1年次：プログラミングの基礎技術を学ぶ。2年次：プログラミングの応用技術を学ぶ。3年次：システムエンジニアとして必要な知識と技術を学ぶ。

成績評価の基準・方法																				
(概要) 学生が履修した授業科目の成績の評価及びグレード・ポイント(評価により与えられる数値。以下「GP」という。)は、下記の表のとおりとする。																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>評価</th> <th>得点</th> <th>GP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>基準を超えて優秀である</td> <td>80点以上</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>基準に十分達している</td> <td>70～79点</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>単位を認める最低限の基準に達している</td> <td>60～69点</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>基準を下回っている(不合格)</td> <td>59点以下</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>		評価	得点	GP	A	基準を超えて優秀である	80点以上	3.0	B	基準に十分達している	70～79点	2.0	C	単位を認める最低限の基準に達している	60～69点	1.0	D	基準を下回っている(不合格)	59点以下	0.0
	評価	得点	GP																	
A	基準を超えて優秀である	80点以上	3.0																	
B	基準に十分達している	70～79点	2.0																	
C	単位を認める最低限の基準に達している	60～69点	1.0																	
D	基準を下回っている(不合格)	59点以下	0.0																	
<p>GPAは、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下第二位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入するものとする。</p> $GPA = \frac{(GP \times \text{時間数}) \text{の総和}}{\text{履修科目の総時間数}}$																				

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 進級の要件</p> <p>① 年次出席率 80%以上</p> <p>② 科目ごとの総合評価がすべて C 以上</p> <p>③ 学費及び補助活動費が納入済み</p> <p>※上記①～③の条件のすべてを満たさない者は、進級できず留年となる。ただし、特別に学校長が認めた者については、この限りではない。</p> <p>(2) 卒業の要件</p> <p>① 卒業基準検定・資格の取得</p> <p>これを満たせない者は、同等レベルの認定試験を受験し合格すること。認定試験を受けるに際しては、他の検定取得状況、出席状況によってその受験資格の有無が決定される。</p> <p>② 年次出席率 80%以上</p> <p>③ 科目ごとの総合評価がすべて C 以上</p> <p>④ 学費及び補助活動費が納入済み</p> <p>※上記①～④の条件のすべてを満たさない者は、卒業できない。但し、特別に学校長が認めた者については、この限りではない。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学前のガイダンスにて学校全体の説明。 ・入学後のオリエンテーションにて学科概要を説明。 ・就職研修による就職指導。 ・個別面談、三者面談で学生の状況を把握。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	17人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) コンピュータソフトウェア会社			
(就職指導内容) 面接、作文、筆記試験、履歴書指導			
(主な学修成果(資格・検定等)) 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、C言語プログラミング能力認定試験、Excel表計算処理技能認定試験、ビジネス能力検定ジョブパス			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38人	1人	2.6%
(中途退学の主な理由) 就職		
(中退防止・中退者支援のための取組) 面談、カウンセリング、遅刻管理、出欠席管理、学生アンケート		